

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(横山小) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- 過疎化・少子高齢化が進む地域の小規模校において、子供、学校のために、地域が学校支援として何ができるのか熟議する。
- 地域に学ぶ活動における支援のあり方について熟議する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

学校教育目標（夢と希望をもち 自分らしく生きる子供）、目指す学校像（だれもが安心できる温かで魅力ある学校）、目指す子供像（自分から 学び合う子、みんな仲よく 認め合う子、力いっぱい 高め合う子）を共通認識し、学校行事や授業の様子などの参観を通して、少人数のよさや強み、課題について意見交換ができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

グループワークを通して、総合的な学習の時間や学校が抱える課題への支援について、委員それぞれの立場から多くの発言があり、熟議することができた。それらのいくつか、具体的な学校支援活動につながった。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

学校だよりへの掲載やホームページでの公開の他、それぞれの立場から地域や所属組織の中で、個々が学校や協議会の考えや子供たちの様子を伝えるようにしているが、さらに情報発信を図っていきたい。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

学校のさらなる小規模化に対応する学校経営の基本方針や教育課程に基づきながら、引き続き、子供、学校のために、地域が学校支援として何ができるのか熟議する。